

for Pepper



ロボピッチ

PRO Android

ROBO PITCH PRO

ENJOY YOUR PRESENTATION

取扱い説明書

Var.2.2 2026.8.27

ロボピッチPROとは

ロボピッチPROは、Pepperで簡単にPowerPointのプレゼンをさせることができるアプリです。特別なプログラミングを必要とせずにPowerPointのみでPepperに動きやセリフを付けられます。

*PowerPointはMicrosoft Office製品です。



目次

[Section 1：事前に確認すること](#)

- 4 設定する前の準備について

[Section 2：初回時の環境設定](#)

- 5 PepperにロボピッチPROを設定する

[Section 3：アプリとロボピッチPROコントローラーの使い方](#)

- 6 アプリとロボピッチPROコントローラーを起動する
- 7 PepperとロボピッチPROコントローラーを手動で接続する
- 8 アプリを終了する
- 9 PowerPointファイルをインポートする
- 10 PowerPointの設定を確認する
- 11 待ち受け画像を登録する
- 12 プレゼンテーション内で利用する画像を登録する
- 13 登録されているプレゼンテーションファイルを削除する

[Section 4：ロボピッチPROコントローラーの画面説明](#)

- 14 使い方

[Section 5：PowerPointでPepperにセリフやモーションをつける](#)

- 16 Pepperにセリフとモーションをつける
- 17 ノート欄の書き方
- 18 コマンドの種類
- 20 コマンドの説明
- 24 モーションリスト

[Section 6：うまく動かないとき](#)

- 28 Pepperのボタンを押してもロボピッチPROアプリが起動しない

[Section 7：Mac版について](#)

- 34 必要な設定と確認事項

事前に確認すること

Section 1

設定する前の準備について

ロボピッチPROコントローラーをダウンロード：

ロボピッチPROでPowerPointファイルの読み込み、再生時に使うソフトウェアです。

下記のリンクからPCにダウンロードしてご利用ください。

Windows版 Download Link:

https://primedrive.jp/v2/access?key=e8Xt2cZhAl6CMfwd7t_jrg

Mac版 Download Link:

<https://primedrive.jp/v2/access?key=mo5OeFh82TevEnbxZeKHnQ>

使用環境：

ロボピッチPROコントローラーはWindowsとMac上で動くアプリです。

下記の環境でご利用ください。

OS環境：Windows 7 以上

PowerPointバージョン：Office2013以上

Microsoft .NET Framework：.NET Framework4.5以上

OS環境：macOS Sonoma 以上

PowerPointがインストールされていること

[Mac版の確認事項](#) > ※必ずご確認ください

初回時の環境設定

Section 2

PepperにロボピッチPROを設定する

お仕事かんたん生成ページにアクセスしてロボピッチPROを起動できるように設定します。

※お仕事かんたん生成の設定の仕方についてはこちらでご確認ください。

お仕事かんたん生成の説明：<http://bizapp.robot.softbank.jp/myapp.html>

アプリとロボピッチPRO コントローラーの使い方

Section 3

アプリとロボピッチPROコントローラーを起動する

PepperとPCをWi-Fiに接続してください

PepperとPCは同一LAN内に接続してある必要があります。

PepperでロボピッチPROを起動する

お仕事かんたん生成で設定した手順でロボピッチPROアプリを起動してください。

PCでロボピッチPROコントローラーを起動する

ロボピッチPROコントローラーが起動すると自動的にPepperとの接続を試みます。

[ロボピッチPROコントローラーが起動できない >](#)



接続完了

接続するとロボピッチPROコントローラーの左上が接続済みになります。



通信しますのでセキュリティでブロックされないようにしてください。

[ロボピッチPROコントローラーとPepperが接続できない >](#)

自動で接続しない場合は手動で接続することができます。

[PepperとロボピッチPROコントローラーを手動で接続する >](#)

PepperとロボピッチPROコントローラーを手動で接続する

PepperとロボピッチPROコントローラーが自動で接続しない場合は、手動で接続することができます。

PepperとPCは同一LAN内に接続してある必要があります。



ネットワークに接続していると、ロボピッチPROコントローラーにPCのIPアドレスが表示されます。



このIPアドレスをPepperのタブレットに直接入力してください。

PCと未接続の状態ではPepperのタブレットをタッチすると接続画面が表示されます。IPアドレスを入力後、接続ボタンを押してください。空白を入れず、「.」など、正しく入力してください。

通信しますのでセキュリティでブロックされないようにしてください。

[ロボピッチPROコントローラーとPepperが接続できない >](#)



アプリを終了する

アプリを終了するには下記の2通りの方法があります。

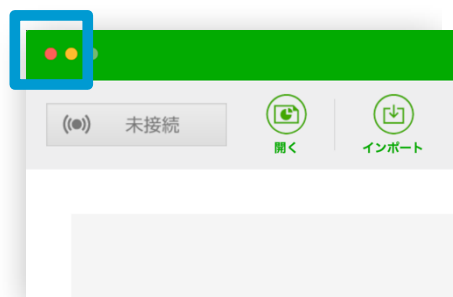
PCのロボピッチPROコントローラーを終了する

自動的にPepper側のアプリも終了します。

Windows版



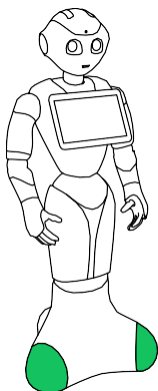
Mac版



※Mac版は、メニューからも終了できます。

Pepperの左右のバンパーを同時に押す

ロボピッチPROコントローラーは終了しません。



PowerPointファイルをインポートする



インポート

PowerPointファイルをインポートする

ロボピッチPROコントローラーの「インポート」をクリックして
PowerPointファイルを選択してください。

数秒間でインポートが完了します。

ロボピッチプレゼンテーションファイル（RPPTファイル）が生成されます。



開く

ファイルを開く

インポートしたロボピッチファイルを開きます。

「開く」をクリックして、

「タイトルフォルダ」>「ロボピッチプレゼンテーションファイル」

ロボピッチPROコントローラーにPowerPointの最初のスライドが表示されます。



再生する

「再生」ボタンをクリックすると、プレゼンが始まります。

PowerPointの設定を確認する

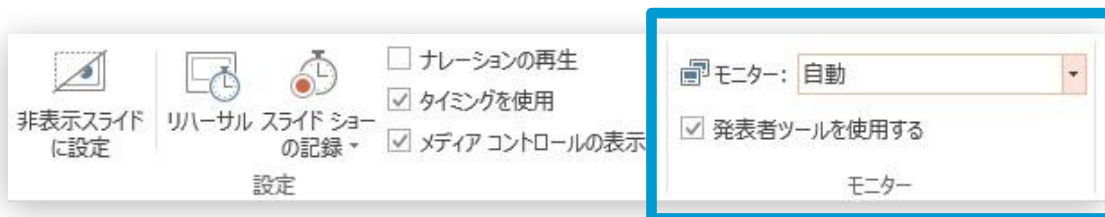
PowerPointの「スライドショー」タブ内で設定を確認してください。

①モニター：自動

②発表者ツールを使用するにチェックが入っているかご確認ください。

※Windows版のみ

※Mac版は自動的に自動プレゼンテーションモードで起動するため、発表者ツールは使用しません。



待ち受け画像を登録する

プレゼンの再生中に、Pepperのタブレットに画像を表示させることができます。
ロボピッチPROコントローラーの右下にあるプラスマークをクリックして
画像を登録してください。



プレゼンテーション内で利用する画像を登録する



画像登録

プレゼンテーション再生中に、スライドの途中で画像や写真を差し込みたい場合があります。

スライドのノート欄にコマンドを書いて、画像登録ボタンから画像を登録するだけで画像が表示されます。

- ① PowerPointファイルのノート欄に画像表示のコマンドを追加
- ② 記述したPowerPointファイルのインポートを実行
- ③ 画像登録ボタンを押して、画像を表示させたいプレゼンテーションファイルを選択
- ④ 続いてそのまま、登録したい画像を選んで、決定

[コマンドの追加方法 >](#)



登録されているプレゼンテーションファイルを削除する



削除

インポートしたプレゼンテーションファイルをアプリケーション内から削除します。
(ここで削除されたファイルはPCのゴミ箱に移動します。)



ロボピッチPRO コントローラーの画面説明

Section 4



((●)) 接続済み

Pepperと接続できている状態。

((●)) 未接続

Pepperと接続されていない状態。



ネットワークに接続されたPCのIPアドレスが表示されます。

PepperとロボピッチPROコントローラーが自動で接続しない場合は、このIPアドレスをPepperのタブレットに直接入力して接続してください。

[PepperとロボピッチPROコントローラーを手動で接続する >](#)



PowerPointファイルを取り込む



インポートしたファイルを開く



インポートしたファイルを削除する



インポートしたファイル内で使用する画像を登録



スライドの再生



スライドのページ移動



Pepperの音量の調整



リピート再生するか、一回再生か選択



リピート再生する場合の再生間隔の時間設定

PowerPointでPepperにセリフやモーションをつける

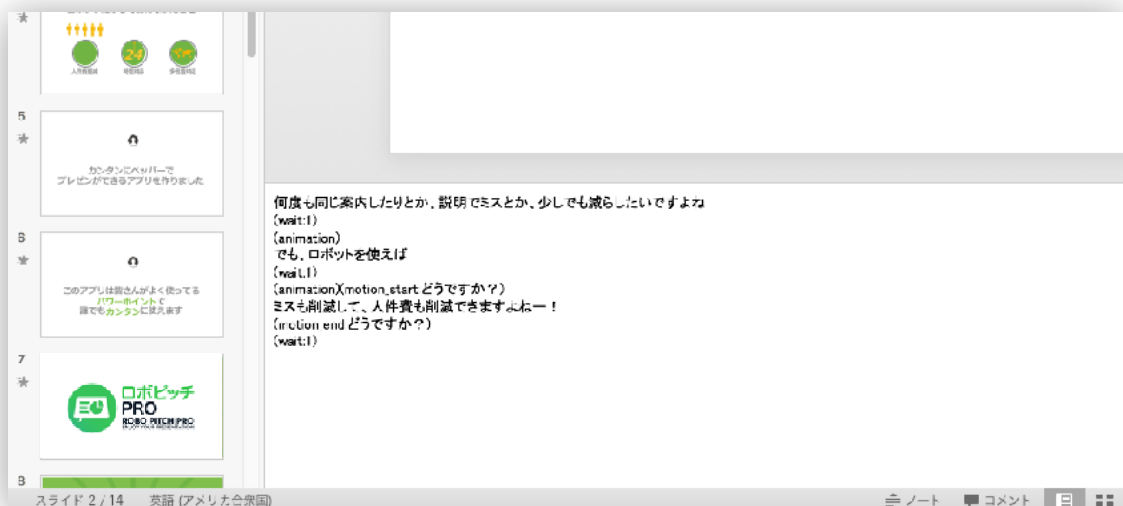
Section 5

Pepperにセリフとモーションをつける

ロボピッチPROには12種類のコマンドと、39種類のモーションを用意してあります。PowerPointのノート欄に書き込んで、Pepperの話すタイミングや動きをかんたんに作成することができます。

PowerPointノート欄 記入例

何度も同じ案内したりとか、説明でミスとか、少しでも減らしたいですね
(wait:2)
(animation)
でも、ロボットを使えば
(wait:1)
(animation)
(motion_start:どうですか?)
ミスも削減して、人件費も削減できますよねー！
(motion_end:どうですか?)
(wait:1)



ノート欄の書き方

PowerPointのノート欄機能を使って、スライドごとにPepperのセリフや動作コマンドを記入します。

PowerPoint ノート欄 記入例

```
何度も同じ案内したりとか、説明でミスとか、少しでも減らしたいですね  
(wait:2)  
(animation)  
でも、ロボットを使えば  
(wait:1)  
(animation)  
(motion_start:どうですか？)  
ミスも削減して、人件費も削減できますよねー！  
(motion_end:どうですか？)  
(wait:1)
```

セリフ

ノート欄にテキストを記入すると、そのままPepperが話すセリフになります。

コマンド/モーション

タイミングや動作などを追加する場合、（ ） カッコの中にコマンドやモーションを記入します。

*半角英数字で記入してください。

*コマンドやモーションの()や:の前後にはスペースを入れないでください。

コマンドの種類

(animation) スライドのアニメーションを動かす

(lang:English) 言語を切り替える
(lang:Japanese/English/Chinese)
3ヶ国語に対応しています。
言語の設定をした後にはその言語でセリフを入れます。
スライドごとの設定が必要となります。

(motion:モーション名) モーションをする
動きが終わるまで音声は停止します。
[モーションリスト](#) >

(motion_start:モーション名) 話ながらモーションをする
セリフ 動きをしながら音声を出す。
(motion_end:モーション名) motion_startとmotion_endでセリフを挟みます。
[モーションリスト](#) >

(reset) 音声の高さスピードのリセット

(sharp:n) 音声の高さを変える
n = パーセント（整数で記入）100が基準となります。

(speed:n) 音声のスピードを変える
n = パーセント（整数で記入）100が基準となります。

(wait:n) 間を空ける
n=秒数 （整数で記入）

(image:画像名) 画像登録されている画像を胸のタブレットに表示
(画像はロボピッチコントローラーで登録します。)

(slide) スライド画像を胸のタブレットに表示する

(hide)

タブレットに表示されている画像やスライドを
非表示にする

(turn:n)

ペッパーを旋回させる

n=45

45度、90度、135度、180度、225度、270度、
315度、360度での指定が可能です

コマンドの説明

スライドのアニメーションを動かす

(animation)

サンプル

何度も同じ案内したりとか、説明でミスとか、少しでも減らしたいですね

(animation)

でも、ロボットを使えば

(animation)

ミスも削減して、人件費も削減できますよねー！

言語を切り替える

(lang:Japanese/English/Chinese)

3ヶ国語に対応しています。

言語の設定をした後にはその言語でセリフを入れます。

日本語以外の場合は各スライドでの指定が必要となります。

※中国語はインストールされていない場合動作しません

サンプル

実は今僕が説明しているこのプレゼンもロボピッチを使ってるんですよー。

外国語でも説明できます。

(lang:English)

I can presentation in English .

(lang:Chinese)

有一个在中国没有问题

(lang:Japanese)

どうですか？すごいでしょ？

音声の高さスピードのリセット

(reset)

サンプル

何度も同じ案内したりとか、説明でミスとか、少しでも減らしたいですよね
でも、ロボットを使えば

(sharp:140)

(speed:120)

ミスも削減して、人件費も削減できますよねー！

(reset)

音声のスピードを変える

(speed:n)

n=パーセント （整数で記入） 100が基準となります。

サンプル

何度も同じ案内したりとか、説明でミスとか、少しでも減らしたいですよね

(speed:140)

でも、ロボットを使えば

ミスも削減して、人件費も削減できますよねー！

音声の高さを変える

(sharp:n)

n=パーセント （整数で記入） 100が基準となります。

サンプル

何度も同じ案内したりとか、説明でミスとか、少しでも減らしたいですよね

(sharp:110)

でも、ロボットを使えば

ミスも削減して、人件費も削減できますよねー！

間を空ける

(wait:n)

n=秒数 （整数で記入）

サンプル

何度も同じ案内したりとか、説明でミスとか、少しでも減らしたいですね

(wait:2)

でも、ロボットを使えば

(wait:1)

ミスも削減して、人件費も削減できますよねー！

(wait:1)

画像登録されている画像を胸のタブレットに表示する

(image:画像名)

画像はロボピッチコントローラーで登録します。

画像はJPG画像のみとなっています。

コマンドに記載する際は、拡張子（.jpg）省いてください。

サンプル

title_image.jpgを表示します。

(image:title_image)

スライド画像を胸のタブレットに表示する

(slide)

ノート欄にこのコマンドを挿入するとそのタイミングで該当のスライド画像がタブレットに表示されます。

※アニメーション等は再現されません。

サンプル

このスライドを表示します。

(slide)

タブレットに表示されている画像やスライドを非表示にする

(hide)

サンプル

このスライドを表示します。

(slide)

(wait:2)

スライドを非表示にします。

(hide)

ペッパーを旋回させる

(turn:n)

n=角度（整数で記入。マイナスで右旋回）

45度、90度、135度、180度、225度、270度、315度、360度での指定が可能です

サンプル

90度左に回ります。

(turn:90)

(wait:2)

元にもどります。

(turn:-90)

モーションリスト

ロボピッチPROに用意されているモーションは39種類あります。
オレンジの部分にリストのモーション名を記入します。

モーションのみの記入例

(motion:お辞儀)

(motion:皆さんどうですか?)

*?や!マークもきちんと指定します。

話しをしながらモーションをする場合の記入例

(motion_start:右手を差し出す)

本日はお集まり頂きありがとうございます。

(motion_end:右手を差し出す)

いいですか?

両手をあげて「いいですか?」の動作をします

いやいや

右手をあげて「いやいや」の動作をします

うなづく

頭をさげてうなずきます

オッス

右手をあげて「オッス」の動作をします

驚く

両手を口元に持ってきて驚きます

お辞儀

お辞儀します

怒る

腰に両手を当てて怒った動作をします

ガッツポーズ

両手を腰にあててガッツポーズをします

考えごと

右手を口元に持っていきます

片手でどうぞ

右手をあげて「どうぞ」の動作をします

片手でバイバイ

右手をあげてバイバイします

正面に手を差し出す

右手を正面に差し出します

スタート！

右手をあげて「よーいスタート」の動作をします

そうなんです

両手をあげて「そうなんです」の動作をします

だめだこりゃ

両手をあげて「だめだこりゃ」の動作をします

違うよ

右手をあげて違うよの動作をします

直立

直立します

天を仰ぐ

両手を広げて天を仰ぎます

どうですか？

腰に手をあて、右に傾きます

投げキッス

右手をあげて投げキッスします

バンザイ

両手をあげてバンザイします

恥ずかしい

両手をあげて恥ずかしがります

拍手

両手で拍手します

左に耳を傾ける

左手をあげて耳を傾けます

左に手招き

左手で左側に手招きします

左手を差し出す

左手を左斜めに差しだします

僕にちょうだい

両手を上にあげて「ボクにちょうだい」の動作をします

右ですか左ですか？

右手から両手をあげて「左右どちら？」の動作をします

右に耳を傾ける

右手をあげて耳を傾けます

右に手招き

右手で右側に手招きします

左右交互に手を差し出す

左右順番に手を差し出します

右手を差し出す

右手を右斜めに差し出します

皆さんどうですか？

右手をあげて「皆さんどうですか？」の動作をします

見渡す

右手を上げて左右を見渡します

もっともっと

両手をあげて「もっともっと」の動作をします

両手でどうぞ

両手をあげて「どうぞ」の動作をします

両手でバイバイ

両手をあげてバイバイします

わかったわかった

両手をあげて「わかったわかった」の動作をします

輪を作る

両手をあげて輪をつくります

うまく動かない時

Section 6

Pepperのボタンを押してもロボピッチPROアプリが起動しない

おしごと簡単生成でロボピッチPROが設定されていない、または配信されていない可能性があります。再度確認ください。

[PepperにロボピッチPROを設定する >](#)

ロボピッチPROコントローラーが起動できない ※Windows版のみ

ドットネットフレームワーク4.5以上がインストールされている必要があります

ドットネットフレームワークのアップデートをおこなってください。

Microsoft PowerPointがインストールされていない可能性があります

Microsoft PowerPointをインストールしてください。

Microsoft PowerPointのバージョンが古い場合があります

Microsoft PowerPointの2013以上をご利用ください。

WindowsのOSが古い場合があります

Windows 7以上にバージョンアップしてください。



ロボピッチPROコントローラーとPepperが接続できない (未接続の表示のまま)

WiFiルーターの機能にプライバシーセパレーターがある場合、
ONになっている可能性があります

プライバシーセパレーターをOFFにしてください。

社内（館内）ネットワークでブロードキャストパケットが
ブロックされている可能性があります

システム担当者にご相談いただくか、WiFiルーター/テザリングなどで確認してみてください。

PCのプライベートファイアウォールで接続がブロックされている可能性があります

システム担当者にご相談いただくか、WiFiルーター/テザリングなどで確認してみてください。

PCのウイルスソフトが接続をブロックしている可能性があります

ロボピッチPROを利用するときはウイルスソフトを停止してみてください。

同一ネットワークに接続されていない可能性があります

PepperとPCが同一のネットワークに接続されているか確認ください。

接続できたがロボピッチPROコントローラーから操作できない

同一ネットワーク内にロボピッチを動かしているPepperが複数ある可能性があります
他にロボピッチPROが稼働しているPepperがないか確認ください。
ロボピッチPROコントローラーに表示されているIPアドレスのPepperに接続されています。

PowerPointファイルのインポートができない

ノート欄に何も記述されていないスライドがある可能性があります
ノート欄に何も無いスライドを削除してもらうか、何かコマンドを記入ください。
[PowerPointファイルをインポートする >](#)

読み上げてくれないスライドがある

読み上げてくれないスライドのノート欄にPepperが発音できない文字が入っている
可能性があります
～、★などの読み上げができない記号が入っている場合があります。それらを削除してみてください。
[ノート欄の書き方 >](#)

設定したコマンド通り動作しない

コマンドの記述が間違っている場合があります

綴りが間違っていないか？コマンドの記述にカッコが半角文字か？コロンが半角文字か？スペースが入っていないか？モーションなどの指定の場合は、モーション名を正確に記述する必要があります。

PowerPointのオートコレクト機能によりコマンドの表記が自動で変更されている可能性があります。

指定した動作をしてくれない

センサーが周囲の物体を感知して動作を止めている可能性があります

Pepperの周り1.5M以内にモノや人がいる場合意図した動作をしない場合があります。

記述が間違っている可能性があります

モーションの設定のコマンドの記述がまちがっているかのうせいがあります。

再度確認ください（モーションの指定に？なども含まれます）マニュアルのモーション一覧を確認ください。()や:の前後にスペースを入れないでください。

■ ノート欄で指定した画像が表示されない

記述が間違っている

ファイル名が間違っている場合があります。ノート欄に記述する際には拡張子までは指定しません。

画像が登録されていない

指定した画像がPowerPointファイルと紐づけられていない可能性があります。マニュアルの手順に沿って登録ください。

拡張子が間違っている

JPGファイルのみ登録することができます。

ネットワークが遅い可能性があります

別のネットワークを利用してみてください。

■ 英語がうまく話せない

言語を切り替えてない可能性があります。日本語、英語、中国語、以外は現時点では話せません
英語、日本語、中国語を切り替える前にlangコマンドで言語を指定する必要があります。

■ 同じスライドを繰り返す場合がある

ネットワークの状態が悪い可能性があります

別のネットワークで接続してみてください。

■ スライドがどんどん進んでしまう

同一ネットワーク内にロボピッチが起動したPepperが複数ある可能性があります

他にロボピッチPROが稼働しているPepperがないか確認ください。

思った通りの発音をしてくれない

調整が必要です

コマンドで調整していただくか、句読点で調整するか言い回しを変えてみてください。

動画が再生されない

自動的に再生するように設定されていません

PowerPointファイルで動画を張り付けた際に自動的に再生を設定してください。

ディスプレイにロボピッチPROコントローラーも表示されてしまう

ディスプレイの設定/パワーポイントの設定が正しくありません

ディスプレイの設定を拡張にしてください。

PowerPointの「スライドショー」メニューの発表者ツールを使用するにチェックしてください。

※Windows版のみ

ロボピッチPROコントローラーがなくなってしまう

ウイルス対策ソフトでファイルが削除されている可能性があります

ロボピッチPROを利用するときはウイルスソフトを停止してみてください。

それでも問題が解決しない場合は、PepperやPCを再起動してみてください。

Mac版について

Section 7

インストール

RoboPitchアプリケーションをApplicationsフォルダへドラッグ&ドロップするとインストール完了です。

[インストール方法](#) >

確認事項とお願い

プライバシーとセキュリティの設定

Mac版はmacOSのプライバシーとセキュリティの各種許可を求められます。RoboPitch操作時に自動的に行われますので、操作時の指示に従って許可してください。

[プライバシーとセキュリティの設定](#) >

ショートカットキーの確認

PowerPointの「現在のスライドから再生」のショートカットキーの機能を利用しています。ショートカットキーの設定を変更している場合は『初期状態』に戻してください。

インポート時のお願い

インポートはRoboPitchとPowerPointを移動しながら処理を進めます。インポート中は処理が完了するまでPC操作を行わずにお待ちください。

「開く」を押すとPowerPointが前面に表示されることがあります

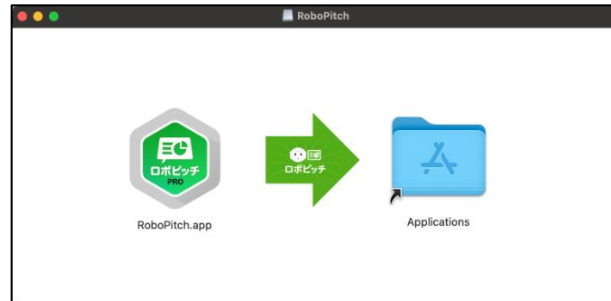
ロボピッチプレゼンテーションを開くとPowerPointのスライドショーが始まるため、外部モニターがない場合は、RoboPitchはスライドショーの裏に隠れます。その場合は、RoboPitchをスワイプなどで前面に表示させて利用してください。

再生中の注意点

再生中に意図的にPowerpointを閉じたり、アニメーションやページをずらした場合は自動的に補正を試みますが、完全に戻らない場合があります。

インストール方法

ダウンロードしたRoboPitch.dmgを開き、RoboPitchアプリケーションを表示されているApplicationsフォルダへドラッグ&ドロップしてください。



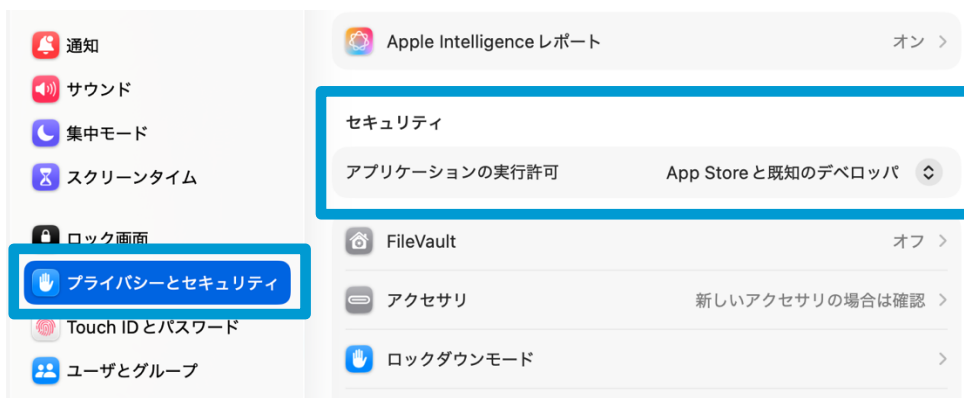
RoboPitch.dmg

アプリケーションの実行許可

インストール時や最初の実行時に、macOSから警告が出る場合は、アプリケーションの実行許可を以下の設定にしてください。

システム設定 > プライバシーとセキュリティ > アプリケーションの実行許可

設定値：App Storeと既知のデベロッパ





プライバシーとセキュリティの設定

RoboPitchを利用すると、以下の権限、許可を設定することになります。

※許可が必要な時にmacOSから指示があるので、指示に従って設定してください。

ファイル操作のアクセス権の付与（ファイルごとに一度のみ）

アプリケーションによるPowerPointのファイル操作に必要です。 [（詳しく見る）](#)

オートメーションの許可（一度のみ）

アプリケーションによるPowerPointの自動制御に必要です。 [（詳しく見る）](#)

ローカルネットワークの許可（一度のみ）

Pepperとの通信に利用します。 [（詳しく見る）](#)

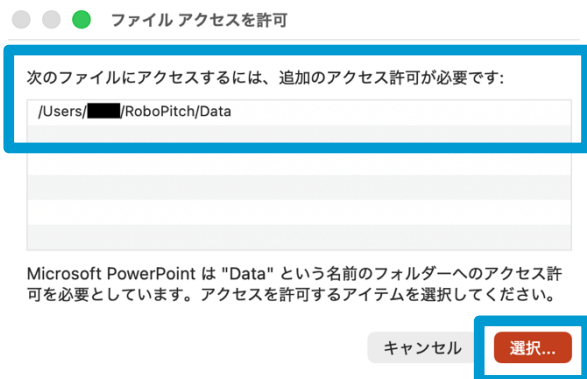
アクセシビリティの許可（一度のみ）

スライドショーの途中再生に利用します。 [（詳しく見る）](#)

PowerPointファイルのアクセス権の付与

インポートや開くなど、PowerPointファイル操作時に、ファイルごとに1度のみ、アクセス権の付与が必要になります。

指示に従って各ファイルにアクセス権を付与してください。



※一度のみ



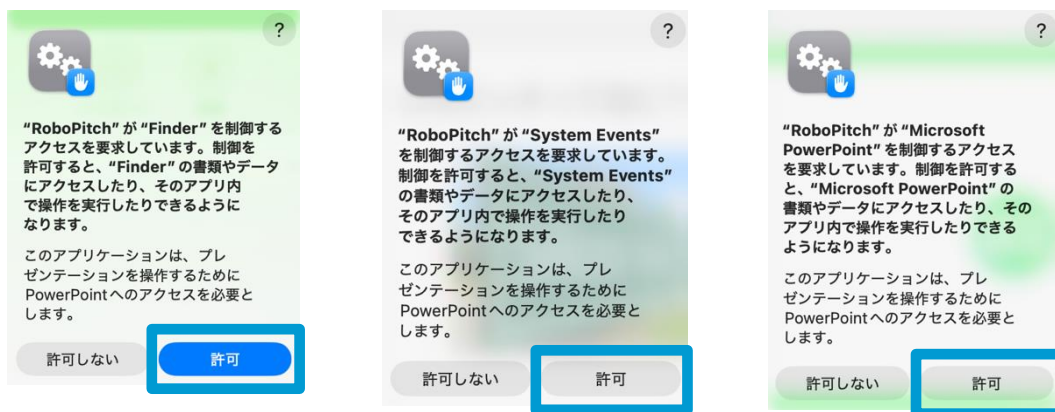
※ファイルごとに一度のみ



※ファイルごとに一度のみ

オートメーション（自動化処理操作）の許可

RoboPitchによるフォルダやPowerPointのファイルの自動制御に許可が必要になります。指示に従って許可してください。



設定値：

Finder

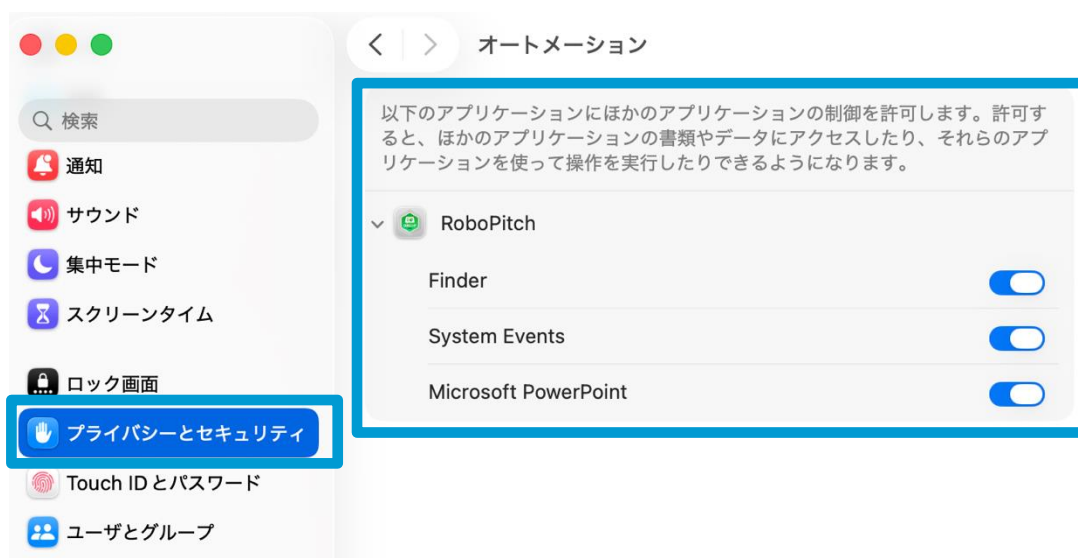
System Events

Microsoft PowerPoint

許可すると自動でオートメーションの許可が設定されます。

うまく動作しない場合は各項目の許可がONになっているか、確認してください。

システム設定 > プライバシーとセキュリティ > オートメーション



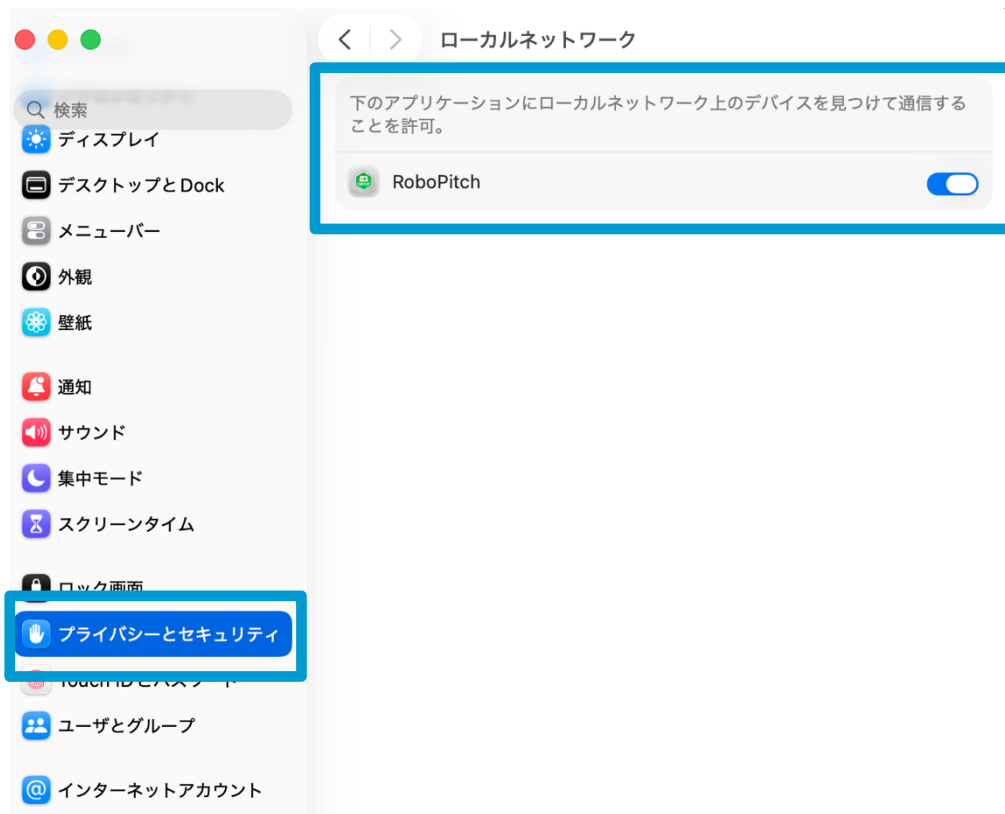
ローカルネットワークの許可

Pepperとの通信時にローカルネットワークを使用します。使用時に、一度のみ、許可してください。



通信がうまくいかない場合は、システム設定のプライバシーとセキュリティのローカルネットワークにRoboPitchアプリケーションが許可されていることを確認し、ON、OFFを繰り返し、再設定してみてください。

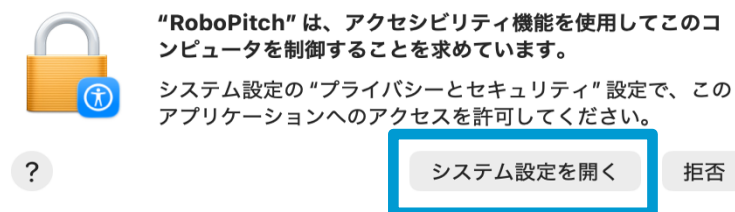
システム設定 > プライバシーとセキュリティ > ローカルネットワーク



アクセシビリティ機能の許可

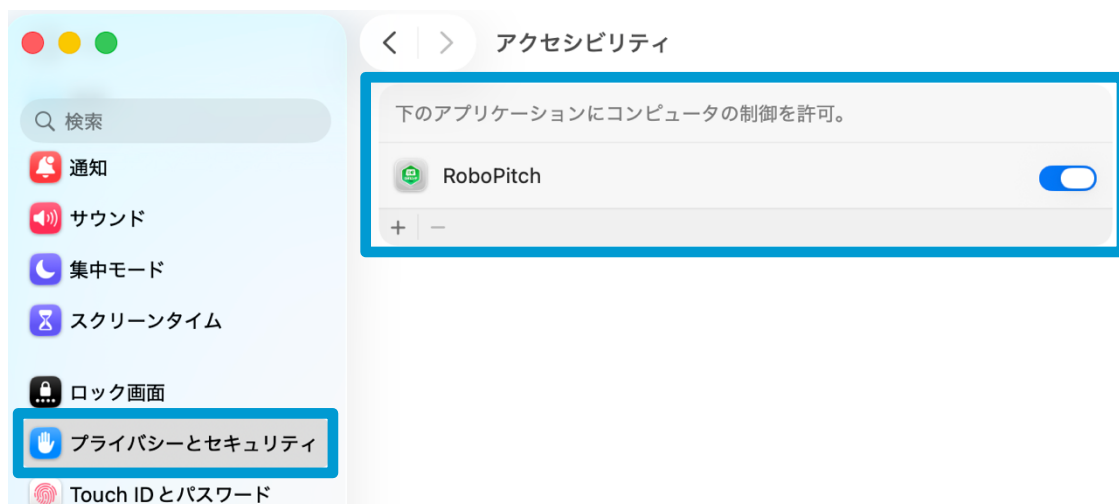
画面のスライダー操作でスライドショーのページを移動する際に、PowerPointの「現在のスライドから再生」のショートカットキーの機能を利用しています。PowerPointのショートカットキーを初期時から変更している場合は『初期状態』に戻してください。また、操作の際に、アクセシビリティの許可が必要になりますので、システム設定を開いて、許可してください。

アクセシビリティアクセス (イベント)



スライダー操作でスライドショーが再開されない場合は、システム設定のプライバシーとセキュリティのアクセシビリティにRoboPitchアプリケーションが設定されていることを確認してください。設定されていても、うまく機能しない場合は「-」ボタンで一度設定を削除後、再度、「+」ボタンで登録しなおしてください。

システム設定 > プライバシーとセキュリティ > アクセシビリティ



ENJOY YOUR PRESENTATION



ロボピッチ
PRO
ROBO PITCH PRO
ENJOY YOUR PRESENTATION